

Hm²助成支援団体のご紹介

地域見守り活動8・3会

代表 ^{いとすぎ ひこしろう} 糸杉 彦士朗さん

「おいちゃん、おはよう!」「おはよう! 今日元気じゃのお!」毎朝こんな会話が飛び交うのは安佐南区山本学区。そこには38年もの間、子どもたちを見守り続けている糸杉彦士朗さんの姿があります。「出勤途中に信号のない交差点で交通事故を目撃したんです。子どもたちの通学路でもあったし、危険だと感じたのが始まりです」と話す糸杉さん。そこから毎朝、出勤前に信号のない交差点で児童



▲登校時の見守り活動の様子

の見守り活動を開始。一人からのスタートでしたが、その姿に感銘を受けた地元の方がじわじわと増え続け、平成30年に「地域見守り活動8・3会」を設立。現在では50人ほどのスタッフが月曜日から金曜日までの登下校時に、小学校付近の交差点で見守り活動をしています。スタッフの年齢は60~80歳代と高齢者が大半ですが、これには糸杉さんの思いが反映されています。

全ての行動に繋がっていく、ルールと思いやりの心

「見守り活動を始めてから風邪を引いたことがない」と話す糸杉さん。「子どもたちと触れ合える毎朝の見守りが励みになって

いるからだと思います。そして、外出するきっかけがなくて閉じこもりがちの高齢者にもこの気持ちを味わってもらいたいと感じました」そこで見守り活動と並行して高齢者の健康維持も目的とし活動しています。

スタッフが見守り活動に参加するには大切なルールがあります。「出かける前にはセルフチェックで脈を計り、決められた数値を超えたらお休みしてもらいます。自分の体は自分で守る。これは子どもを思う気持ちと同じくらい大切なことです」そして、子どもたちに伝え続けているのが交通ルールはもちろん、相手を思いやる心だそう。「相手の立場になって考えたら防げる事故は多い。譲り合いの心は社会に出てからも必要なことです」と未来を担う子どもたちに思いを馳せます。

山本学区連合陸会会長でもある糸杉さん。「活動に参加することで地元の人々が顔見知りになり横の繋がりが芽生える。それは災害時の避難や誘導がスムーズに行えるということに繋がります。皆が安心して暮らせるまちを目指します」と話してくれました。



▲見守り活動する代表の糸杉彦士朗さん

待っとる間に鶴折る会・ヒロシマ

代表 ^{とよひさ よしみつ} 豊久 芳光さん

広島の名物お好み焼き。多くの人が慣れ親しんだソウルフードが焼けるのを待っている時間に、もっと広島を知ってもらおう何かができないだろうか?という思いから始まった「待っとる間に鶴折る会・ヒロシマ」は平成8年に設立。代表の豊久芳光さんをはじめ7人のスタッフで運営しているボランティアグループです。折り紙を広島市内の15か所ほどのお好み焼店に設置し来店客に「折り鶴」を折ってもらっています。「折っている時間が大切」と話す豊久さん。何気ない生活の中で平和を願い、意識することの重要性を実感したそうです。さまざまな年代の人々の思いの詰まった折り鶴は定期的に平和公園へ寄贈しています。



▲お好み焼き店で折られた折り鶴

大切なのは「学ぶ」のではなく「感じる」こと

活動を通じて、戦争体験者の方に話を聞く機会にも恵まれ、安佐北区にあるラムネ屋の山田飲料さんの体験談に胸を打たれたそうです。「戦争の恐ろしさは空襲だけじゃないんです。庶民

の飲み物であるラムネまでも戦争の影響を受けていた。今までの当たり前が無くなり、生活が一変していった。こういう体験を子どもたちに伝えることで、身近な事として捉えてもらいたいと思います」更にこの思いを映像化することを決意し、広島市立大学映像メディア造形学科の協力のもと、「山のラムネの物語」という5分のDVDを制作。今後は定期的上映会を開催する予定で「ぜひ親子で観に来てほしい」と話す豊久さんには「繋げていく」という強い思いがあります。「映像を観て、家庭での会話に何度も出してほしいんです。子どもだけではわかりにくいことも大人が言葉を添えてあげることで、忘れずにいてもらえると思います」。

加えて、生活協同組合が取り組んだ「平和のつどい」では、広島県立三次高等学校美術部の学生にポスターを依頼し展示。また、その作品でポストカードやステッカーも作製し、収益は原爆ドームの修繕費に寄付するという新たな取り組みも始まっています。豊久さんたちの平和を願う気持ちに終わりはありません。



▲山田飲料の社長と広島市立大学の学生が映像制作の打ち合わせをしている様子

沼田日本語教室

代表 ^{くろせ みちこ} 黒瀬 美智子さん

日本在住の外国人を対象に日本語を教える場として設立した「沼田日本語教室」は、今年で設立24年目を迎えるボランティアグループです。代表の黒瀬美智子さんが教室を開くきっかけとなったのは、広島県主催のボランティア養成教室を受講してすぐの頃。ボランティアの重要性を感じたと同時に、「来日した知人の奥さんがホームシックになって困っている」と相談を受けたことだそうです。「言葉の重要性を感じました。そして気持ちを伝える手段が無いように生活できない人たちの憩いの場を作らなければと思いました」と黒瀬さん。

沼田公民館を拠点とし、現在の会員は20人ほど。日本語習得のほか、地域活動への参加や伝統文化を学ぶことで学習者が日本社会に適応できるようにと活動しており、この度この功績が認められ国際交流奨励賞も受賞しました。

指導から支援へ、進化し続けるボランティアのかたち

毎週土曜日の開催を待ちわびているという学習者。ベトナム、中国、フィリピン、タイの人たちが言葉を超えて集う場所は総勢12人のスタッフで



▲地域国際交流会でのバンブーダンスの様子

運営していますが、学習者の増加に伴い、ボランティア養成講座も行いました。「ボランティアの定義は一括りにはできません。技術より相手を思う気持ちが大切。教えるのがボランティア

ではなく、相手を理解し寄り添って支援していく。そして支援は一方的ではなく、お互いの成長に繋がっていくことを実感しています。学習者の笑顔が見られるのは最高の瞬間ですね」と話す黒瀬さん。子育て世代のお母さんのため、教室開催と同時刻に「児童居場所作り」も実施しており、大人と子どもが安心して学べる環境を提供しています。

また、地域住民との交流も積極的に行い、沼田公民館主催の「ふるさと祭り」や「地域国際交流会」では、地元の子ども会と学習者、その子どもたちが自国の文化や食で交流を深めています。なかなか味わうことのない郷土料理を毎年楽しみにしている参加者も多いそう。「これからは益々国際的な対応が求められる時代。子どもたちを巻き込んで国境を超えた交流をどんどん行っていきたいと思っています」と熱く語ってくれました。



▲フラワーフェスティバルのパレードに参加した時の様子

公益信託広島市
まちづくり活動支援基金
ひと・まち広島
未来づくりファンド
Hm²

(公財)広島市文化財団では、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動を支援し、市民、企業、行政の協働によるまちづくりを推進するための仕組みづくりとして、公益信託による基金「ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)」を設けています。

この基金は、心豊かでいきいきとした市民社会づくりを目指すため、市民の皆さんの自主的なまちづくり活動に対する助成事業を行っており、助成先は、学識経験者などで構成する運営委員会が公開審査し、決定します。

これまでの助成団体や助成額等については、(公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部のホームページでご覧いただけます。

また、基金では多くの皆様からの寄付をお願いしています。

HP <http://www.cf.city.hiroshima.jp/hitomachi/>

寄付のお願い

ひと・まち広島未来づくりファンドHm²(ふむふむ)は、市民・企業・行政等が力を合わせて、市民のまちづくり活動を長期にわたり支えていくために設けられた基金です。私たちの住む広島をよりよくしていくために、できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いします。

振込先 広島銀行広島市役所支店/別段預金 No.3000017

口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口
専用の振込用紙をご使用いただければ、手数料はかかりません(ただし、広島銀行の窓口からの振込に限ります)。広島銀行の振込用紙を使用、または他の金融機関からの振込の場合、手数料は自己負担となります。
※この公益信託への寄付に対して税の減免はございません。
※頂戴したご寄付は、毎月末日締めにて集計し、翌月の5日(休日の場合は翌営業日)に基金へ寄付させていただきます。



基金の愛称「Hm²(ふむふむ)」とは…【ひと(Hito) まち(Machi) 広島(Hiroshima) 未来づくり(Miraizukuri) ファンド】の略で、頭文字(HMHM)をとって「ふむふむ」と読みます。【ひと】と【まち】をつなぎ、【広島】の【未来】を創造するファンドで、みんなが「ふむふむ」と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。



情報の森



生涯学習

シティカレッジ

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に生かすことを目的に、学習機会を提供します。

会場 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)

受講料 無料

申込方法 (1)電話またはファクスにより①希望講座名または大学名②氏名(ふりがな)③住所④連絡先(電話番号、ファクス番号)をご連絡ください。先着順により定員になり次第締め切ります。※各講座とも全回参加が前提です。※郵送(はがき等)による受付は行っていません。(2)受付時間:月～金(祝日を除く)午前8時半から午後5時15分まで。土曜日・日曜日・祝日は閉所しています(来所の場合は午前9時半から)。(3)申込開始日まではお受けできませんので、下記の表をご確認ください。

申込・問合せ (公財) 広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係 〒730-0036 中区袋町6番36号

☎082-541-5335 ☎082-541-5611

[シティカレッジ]

広島女学院大学	講座名	誰一人取り残されない社会へ(Towards a Society Where No One is Left Behind)～多分野におけるSDGsの展開
	日時	5/14, 5/21, 5/28, 6/4 木曜(全4回) 18:00～19:30
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 60人
安田女子大学	講座名	日常のストレスについて心理学から考える
	日時	5/23土曜(全3回) ①10:30～12:00 ②13:00～14:30 ③14:40～16:10
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 60人
広島文化学園大学	講座名	100歳長寿を目指した健康づくり
	日時	5/23, 5/30, 6/6, 6/13 土曜(全4回) 13:00～14:30
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 50人
日本赤十字広島看護大学	講座名	がんとともに自分らしく生きる
	日時	7/7, 7/14, 7/21, 7/28 火曜(全4回) 18:00～19:30
	対象・定員	社会人 50人

近畿大学工学部	講座名	絵画をめぐる短編小説を英語で読もう
	日時	8/22, 8/29, 9/5 土曜(全3回) 13:30～17:00
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 30人
広島都市学園大学	講座名	心と身体の健康増進
	日時	8/25, 9/1, 9/8, 9/15 火曜(全4回) 18:00～19:30
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 40人
広島文教大学	講座名	広島市の昔と今
	日時	8/29, 9/5, 9/19, 9/26 土曜(全4回) 13:00～14:30
	対象・定員	高校生・大学生・社会人 60人

リカレント講座

大学などの高等教育機関と連携して、市民の皆様へ高度で専門的な学習機会を提供する公開講座です。

県立広島大学との連携講座「厳島合戦再考—これが合戦の実像だ—」

天文24年(1555)の厳島合戦は、毛利元就が謀略によって陶晴賢を宮島におびき寄せ、奇襲攻撃によって勝利したと考えられてきました。しかし近年では、新たな史料も紹介され、合戦のイメージは大きく変わりつつあります。この講座では、近年の厳島合戦研究の成果を集大成し、わかりやすく紹介します。※2019年の講座と同内容を実施します。

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟5階研修室 AB

定員 100人(定員を超える場合は抽選)

受講料 3,000円

対象 広島市内に在住か通勤・通学の方

申込方法 4月15日(水)から申込受付開始。申込開始日以前は受付できません。はがき(1人1枚)に①講座名②住所③氏名(ふりがな)④電話番号を記載のうえ、下記宛先へお送りください。

[宛先] (公財) 広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課

「リカレント講座(県立広島大学)」係 〒730-0036 中区袋町6番36号

申込締切 5月15日(金)【必着】

問合せ (公財) 広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係

☎082-541-5335

1回	日時	6月23日(火) 18:00～20:00
	テーマ	陶晴賢のクーデターと毛利元就の立場
2回	日時	6月30日(火) 18:00～20:00
	テーマ	「防芸引分」と折敷畑合戦
3回	日時	7月14日(火) 18:00～20:00
	テーマ	山と海の戦い
4回	日時	7月21日(火) 18:00～20:00
	テーマ	陶軍の厳島上陸
5回	日時	8月4日(火) 18:00～20:00
	テーマ	警固衆の動向
6回	日時	8月18日(火) 18:00～20:00
	テーマ	弘中隆兼が見た厳島合戦
講師		秋山 伸隆(県立広島大学 特任教授)

イベント

ひろしまシルバーアンサンブル～スタンプショウ=ヒロシマ2020

切手収集の面白さと、本格的なコレクションづくりに触れていただくために全国からの優秀作品を展示するほか、各種イベントコーナーを用意してみなさまのお越しをお待ちしています。

日時 6月13日(土) 午前10時～午後5時、6月14日(日) 午前9時～午後3時

場所 広島県立産業会館・東展示館第2展示場(広島市南区比治山本町12番18号)

入場料 無料

主催 スタンプショウ=ヒロシマ実行委員会、公益財団法人日本郵趣協会 中国・四国地方本部

問合せ スタンプショウ=ヒロシマ実行委員会

☎082-299-7192(横原)

夜間中学の映画「こんばんはⅡ」上映と学んだ人の話を聞く会

「夜間中学」はさまざまな理由で十分に学べなかった人が夕方から夜にかけて学ぶ「学校」です。広島市には2

校(観音・二葉)にあります。ひとりひとりの生徒に必要な学習を一緒に考えます。学んだ人や教員によるお話しと映画の上映会です。どうぞお越しください。

1回目	日時	4/25(土) 午後4時～5時40分
	場所	CLIP HIROSHIMA 2階 ナレッジルーム 広島市中区東千田町一丁目1番18号
2回目	日時	5/10(日) 午後1時半～3時40分
	場所	合人社ウエンディひと・まちプラザ 5階 研修室C 広島市中区袋町6番36号

入場はいずれも開始30分前から。1回目と2回目では、交流会の内容をかえる場合があります。上映作品は同じです。

申込 不要(入場無料)

主催 「広島・夜間中学を知ってる?」会 ☎090-7376-6982(水戸)

三滝少年自然の家からのお知らせ

①親子で星空観察 & 夜景を楽しもう in 三滝

親子で同じ星空や夜景を眺めることにより、親子の絆を深めます。

日にち 4月25日(土)

対象・定員 小学生以上の子どもとその保護者20人程度(定員を超える場合は抽選)

参加費 50円(保険代、資料代)

※当日徴収します。

申込受付期間 4月1日(水)～4月8日(水) 必着

②第1回三滝自然ファミリーランド

三滝の魅力ある自然の中で、自然災害への対応や野外での体験活動を通して、他の家族との交流を図るとともに家族の絆を深めてみませんか。

日にち 6月27日(土)～28日(日)

対象・定員 小学生以上の子どもとその保護者10家族(定員を超える場合は抽選)

参加費 2,000円(保険代、食費、薪、資料代など)

申込受付期間 5月1日(金)～5月15日(金) 必着

③ボランティア育成セミナー

子どもたちとレクリエーションや自然体験をおこなう、ボランティア活動をはじめてみませんか。

内容 体験活動ボランティアに関わる様々な講義や実技

日にち ①5/23(土)～5/24(日)

②6/13(土)～6/14(日)

③6/27(土)～6/28(日)

※全3回参加のこと

対象・定員 大学生(18歳以上)30人(定員を超える場合は抽選)

参加費 各回1,800円(食費、保険料)

申込 事業名、名前とふりがな、性別、年齢、住所、電話番号を記入し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛先を記入)を同封して下記共通項目申込先まで郵送または電話でお申し込みください。

申込受付期間 4月1日(水)～4月30日(木) 必着

※①②共通項目

申込 事業名、住所、電話番号、参加する家族全員の名前とふりがな、性別、年齢、児童生徒は学年を記入し、84円切手を貼った返信用封筒(長形3号で宛先を記入)を同封して下記共通項目申込先まで郵送してください。

※①～③共通項目

場所 広島市三滝少年自然の家

申込・問合せ 広島市三滝少年自然の家 〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73番地の20

☎082-238-6301

船越公民館からのお知らせ

①ふなこし岩滝山フェス

船越町のシンボルで、市街地から徒歩圏内の岩滝山の豊かな自然と歴史を体験できるフェスティバルを開催します。

日時 5月23日(土) 時間未定

場所 岩瀧神社およびその周辺(広島市安芸区船越町4-13)

内容 木工ワークショップ・忍者体験・山の音楽会・体験&飲食ブースなど

参加費 無料(飲食や体験ブースなどの実費がかかります) ※申込不要

主催 安芸親子チャレンジクラブ、安芸区役所農林課、広島市船越公民館

②船越誰故草まつり

旧船越町の町花「誰故草(タレユエソウ)」の見頃に合わせて、ミニコンサートや誰故草の展示、育て方講座を行います。

場所 広島市船越公民館

参加費等 無料

※「誰故草の育て方講座」のみ電話または窓口にて要申込み(先着順)

主催 船越誰故草保存会、安芸区役所、広島市船越公民館

船越誰故草まつり ～オープニング・ミニコンサートなど～	
日時	4/4(土) 10:00～
誰故草の育て方講座	
日時等	4/11(土)、4/12(日) 10:00～ 各15名 ※両日、同じ内容で実施します。
誰故草の作品展示 ～誰故草の花・誰故草をモチーフにした作品～	
日時	4/4(土)～4/19(日) 終日
誰故草コンサート	
日時	4/19(日) 14:00～

※①②共通項目

問合せ・申込先 広島市船越公民館 広島市安芸区船越五丁目22番23号 ☎082-823-4261

可部山まゆ同好会展

江戸時代から昭和の初めまで栄えた可部地方の「山まゆ織り」の素晴らしい文化を後世に伝えていく活動をしています。今回は、会の活動紹介ビデオの上映、作品・ヤマユの幼虫・繭などの展示、山まゆ関連資料の紹介をします。

日時 6月6日(土) 午前10時～午後5時、6月7日(日) 午前10時～午後4時

場所 広島市可部公民館

入場料 無料

問合せ 広島市可部公民館 広島市安佐北区可部三丁目19番22号(安佐北区総合福祉センター7階) ☎082-814-4031

ひと・まち広島未来づくりファンド Hm²(ふむふむ)

第17回助成事業「成果発表会」& 第18回助成事業「公開審査会」

市民のみなさんの自主的なまちづくり活動を助成する基金 Hm²(ふむふむ)。広島市の未来をつくる魅力あふれる活動の成果発表やこれから新たに取り組もうとしている提案事業の審査を行います。

日時 5月16日(土) 第17回成果発表会:午前10時～正午、第18回公開審査会:午後1時～5時15分



▲成果発表会の様子

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟4階ギャラリー

問合せ (公財)広島市文化財団ひと・まちネットワーク部管理課事業係
☎082-541-5335

助成

(公財)広島市文化財団 令和2年度下期文化活動助成事業

市民の皆さんの自主的な文化活動の促進を図るため、団体または個人の文化活動の成果を発表する事業に要する経費の一部を助成します。

対象団体 ①文化活動の場が主として広島市内にあること②個人、または団体の構成員及び、出演者・出品者の5割以上が広島市内に居住または通勤・通学していること③団体の所在地、または連絡先が広島市内にあること④目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項についての定めがあること⑤国、地方公共団体および企業等が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人でないこと⑥非営利団体であること(講師が受講者を募り受講料・会費を徴収する教室等は助成対象外)

対象となる事業 音楽、美術、演劇、民俗芸能などの文化活動を行っている団体または個人が行う日ごろの活動の成果を発表する事業(出版物の発行は除く)で次に掲げる要件に該当するもの①事業が広島市内で開催され、広く市民に公開されること②非営利の事業であること③政治または宗教活動と関わりのない事業であること

対象事業の実施期間 令和2年10月1日～令和3年3月31日

助成金額 助成の対象となる経費の2分の1以内で1件の助成額が20万円以内

応募方法 募集要件をご確認のうえ、申請書ほか必要書類を揃えてお申込みください。

※詳細は下記ホームページをご覧ください。

受付期間 6月1日(月)～6月30日(火)
※持参の場合は月～金の午前9時～午後5時まで受付。郵送の場合は当日消印有効。

申込・問合せ (公財)広島市文化財団事業課

〒730-0812 広島市中区加古町4番17号
☎082-244-0750 ☎082-245-0246

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/>

お知らせ

市民文芸作品集「文芸ひろしま」 第31号を刊行しました

「文芸ひろしま」は、詩、短歌、俳句、川柳、小説、エッセイ、児童文学等の部門で3,819点の応募から、選び抜かれた455点を掲載しています。

収録された作品は、日常の出来事や風景を綴る心温まるもの、戦争・原爆の記憶を語るもの、西日本豪雨災害で被災された方々・地域・自然への想いを馳せたものなどテーマは様々です。小・中学生の瑞々しい感性が光る作品にも出会えます。初々しくも味わい深くもある、読み応えある1冊です。

内容 「第31回市民文芸」作品募集の入賞・入選作品及び審査講評、顕著に活動する広島の文芸団体を部門ごとにまとめた一覧表

閲覧・入手方法 広島市内の図書館や公民館でご覧いただけるほか、一部書店等で販売しています。[A5判483頁1,000円(税込)]

販売場所 紀伊國屋書店/フタバ図書/廣文館/啓文社/JMSアステールプラザ1階情報交流ラウンジ/(公財)広島市文化財団事務局(郵送販売)

問合せ (公財)広島市文化財団事業課「文芸ひろしま」係

〒730-0812 中区加古町4番17号
JMSアステールプラザ内

☎082-244-0750 ☎082-245-0246

MAIL bunka@cf.city.hiroshima.jp

URL <http://www.cf.city.hiroshima.jp/bunka/>

※土・日・祝日はお休みです。



「第32回市民文芸」作品募集は、令和2年11月から募集予定です!

プラザ主催事業のご案内

楽し人(タノシビト)のためのあそびCafe

お茶を飲みながら、相談員のみなさんに余暇を充実させるお話を開いたり、余暇についての個別相談や「余暇診断シート」を使ったアドバイスを受けられる気軽な相談会を、毎月第3土曜日に開催しています。

日時 4月18日(土)、5月16日(土)、6月20日(土)、7月18日(土)
いずれも午後2時～3時半
※受付は当日午後1時半～

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)南棟1階ロビー

令和2年度各種パソコン講座

エクセル、ワード、身近なソフトを使用した、実用的な学習会です。

申込方法 往復はがき、ファクスまたはメール(m-plaza@cf.city.hiroshima.jp)で講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号(ファクスでお申込みの方はファクス番号)を記入のうえ申込期間内に合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)へお申込

講座名	①親子プログラミング入門講座
日時	5/16(土)または5/17(日) 13:30～15:30
対象・員	パソコン基本操作ができる保護者を伴う小学校4・5・6年生 親子18組
受講料	1,000円(テキスト代込み)
申込期間	5月6日(必着)
講座名	②Jimdoでホームページ作成講座
日時	5/22、5/29、6/5、6/12 金曜(全4回) 19:00～21:00
対象・員	パソコンの基本操作ができ、ブラウザが使える方20人
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	4月1日～5月12日(必着)
講座名	③Excel応用「関数」講座
日時	7/3、7/10、7/17、7/31 金曜(全4回) 19:00～21:00
対象・員	Excelの簡単な関数や計算式を使った表作成ができる方38人
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	5月15日～6月23日(必着)

講座名	④エクセル入門編～やさしいエクセル～
日時	7/5、7/12、7/19、7/26 日曜(全4回) 13:30～15:30
対象・員	文字入力・パソコンの基本操作ができる方38人
受講料	4,500円(テキスト代込み)
申込期間	5月15日～6月25日(必着)
講座名	⑤すぐに使えるワード講座
日時	9/11、9/25、10/9、10/23、11/6、11/20 隔週金曜日(全6回) 10:00～12:00
対象・員	文字入力・パソコンの基本操作ができる方38人
受講料	7,000円(テキスト代込み)
申込期間	7月15日～9月1日(必着)
講座名	⑥すぐに使えるエクセル講座
日時	9/11、9/25、10/9、10/23、11/6、11/20 隔週金曜日(全6回) 13:30～15:30
対象・員	文字入力・パソコンの基本操作ができる方38人
受講料	7,000円(テキスト代込み)
申込期間	7月15日～9月1日(必着)
講座名	⑦Excelマクロ(VBA)の基礎講座
日時	9/18、9/25、10/2、10/9、10/16、10/23 金曜日(全6回) 19:00～21:00
対象・員	Excelの簡単な関数や計算式を使った表作成などの基本操作ができる方38人
受講料	6,500円(テキスト代込み)
申込期間	7月15日～9月8日(必着)

みてください。①④～⑥の講座は、託児があります。託児(1歳以上の未就学児)を希望の場合は子どもの年齢を記入ください。

定員 各講座38人(①は親子18組、②は20人)※申込多数の場合は抽選

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

パソコンサロン

基本的なパソコン操作に自信のない方を対象にパソコンを無料開放します。会場にはICTボランティアがいますので、わからないことがあれば気軽におたずねください。

日時 4/5、4/12、4/19、4/26、6/7、6/14、6/21、6/28、8/2、8/23、8/30

原則、偶数月の日曜日(8/9、16 休み)
午後1時半～4時半

参加費 無料

申込 不要、時間内出入り自由
※パソコンの開放台数は20台
※パソコンの持込みはご遠慮ください。

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディア実習室

令和2年度共催団体募集! 【市民活動団体等成果発表事業】

皆さんの日頃の活動成果を、まちづくり市民交流プラザとの共催事業としてPRしてみませんか?

展示、上映、講演会など、表現方法は工夫次第です。団体のPRや会員の募集などにお役立てください。

実施時期 令和2年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)中

実施場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)研修室、ギャラリー、マルチメディアスタジオなど

団体条件 原則として、広島市内を主な活動場所とし、まちづくりや生涯学習、ボランティアなどの活動に関わる市民団体、NPO法人等(個人での活動、営利団体、特定の政治や宗教にかかわる団体は除く)

実施条件 次の条件のすべてを満たす事業であること

①市民活動及びまちづくり活動の振興に寄与し、プラザの施設及び付属設備を活用して団体等が主体的に企画・実施する事業②先進性、モデル性がある事業③広い範囲で公益性がある事業④複数の団体や行政機関、企業等の社会貢献活動等と連携して実施する事業⑤経費など事業計画に無理がない事業

申込方法 所定の申請書に必要な事項を記入のうえ、団体の概要がわかる資料、事業計画書・事業予算書等(様式自由)を添えて、原則、開催予定日の2ヶ月前までにプラザまで来館によりお申し込みください。

※1団体につき1事業
※審査の結果、共催事業として開催できない場合もあります。

申込期限 令和3年1月31日(日)

令和2年度「まちづくり市民交流フェスタ」開催日決定!

ボランティアやまちづくり生涯学習など市民活動に取り組んでいる団体・グ

ループやまちづくりボランティア人材バンクの登録者の活動紹介・成果発表の場として「まちづくり市民交流フェスタ」を令和2年10月31日(土)・11月1日(日)に開催します。

これに先立ち、フェスタに参加する団体・グループを6月下旬(予定)より募集します。フェスタに参加して、自分たちの活動のPRや、他の団体・グループとのネットワークをひろげませんか。※詳細については、決定次第当プラザホームページにて公開します。



▲屋外バザーの様子

市民活動人材育成講座「コーチング」

市民活動を円滑に運営するために「コーチング」の学習をしてみませんか? コーチングはコミュニケーションの手法のひとつです。相手に教えることはしません。相手に問いかけて聞く対話を通して相手自身の自発性を引き出す方法です。

日時 5月15日、22日、29日、6月5日

毎週金曜日全4回午後7時～9時

場所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)北棟6階マルチメディアスタジオ

定員 20人(申込多数の場合は抽選)

申込 電話・ファクス・メール(m-plaza@cf.city.hiroshima.jp)・来館で講座名・住所・氏名(ふりがな)・電話番号(ファクスでお申込みの方はファクス番号)・活動実績を記入のうえ合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)へお申込みください。

申込受付期間 4月1日(水)～5月1日(金) 必着

「プラザ主催事業のご案内」に関する申込・お問合せは・・・

広島市まちづくり市民交流プラザ
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
(合人社ウエンディひと・まちプラザ)
☎082-545-3911 ☎082-545-3838



まちづくり市民交流フェスタ2019開催報告

令和元年11月9日(土)、10日(日)の両日、合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)とその周辺を会場に、市内を中心に活動する市民団体やまちづくりボランティア人材バンク登録者約40組との協働により「まちづくり市民交流フェスタ2019」を開催しました。心地よい秋晴れの中、2日間で延べ4,570人の方にご来場いただきました。

南棟1階の特設ステージでは、スーパーちんどのにぎやかなお囃子と広島少年合唱隊の澄んだ歌声に始まり、音楽やダンス、伝統芸能などを楽しみました。屋外では肉まんや無農薬野菜や雑貨の販売だけでなく、ステージ出演者によるフェスタのPRも。館内では、活動を紹介する展示のほか、さまざまな体験や工作、相談会、講座などを開催しました。ほかにも、プラザの施設・設備を活かした上映会や演奏会、パソコン体験会などの催しや、袋町小学校の児童作品展、カフェやウォークラリーもあり、子どもから大人まで楽しめる2日間となりました。



▲ステージ発表の様子



▲工作体験の様子

この「まちづくり市民交流フェスタ」は、広島市内近郊で市民活動や生涯学習などに取り組んでいる団体の皆さまが、日頃の活動成果の発表や活動の紹介、情報発信などを行い、参加団体同士や来場される皆さんとの交流を深め、活動の輪を広げていくことを目的に開催しています。

4月以降、次のフェスタに向けて動き始めます。詳細が決まりましたらこの「らしく」誌上でもお伝えしますので、ぜひご覧ください。

企業等社会貢献活動研究会の活動報告

「企業等社会貢献活動研究会」(以下「社貢研」)は、市民、企業、行政による協働のまちづくりを進めるため、広島市内に本社または支社・支店を置き、社会貢献活動に取り組む企業・団体19社2団体からなる研究会です。例会を開催し、会員企業の活動事例の情報交換等を行うほか、以下のボランティア活動も行っています。

愛のカレンダー収集・配布大作戦

職場などで余っているカレンダーを社貢研の各企業・団体で収集し、広島平和文化センターや広島市社会福祉協議会などの団体を通じて、広島で暮らす留学生や地域の高齢者にお配りしている事業です。21回目を迎える今年は、カレンダー 8,441部、手帳1,739冊を寄贈することができました。

ひろしま男子駅伝応援・清掃ボランティア

ひろしま男子駅伝を応援し盛り上げるとともに沿道の環境美化を行う活動です。平和大通りに設置した2か所のごみステーションを拠点に、平和大通り沿いに落ちているごみを拾い集めました。参加企業・団体から500名を超える参加があり、可燃、不燃、ペットボトル、カン・ビンなど計45袋を収集することができました。



▲ごみステーションの様子

募集
しています!

「らしく『情報の森』」に載せてほしい!という、イベントなどの記事を募集しています。次号は、「7月下旬発行予定」です。8月以降の情報をお待ちしています。下記、発行者までお送りください。[5月末日必着]

合人社ウエンディひと・まちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ)

- 開館時間
午前9時30分～午後10時
 - 休館日
毎月第3月曜日、12月29日～1月3日
 - 交通アクセス
市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分
 - ホームページ
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>
 - ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>
 - E-mail
m-plaza@cf.city.hiroshima.jp
- 〒730-0036 広島市中区袋町6-36
TEL: 082 (545) 3911 (代表)
TEL: 082 (545) 3913 (施設予約受付専用)
FAX: 082 (545) 3838

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす利用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。

※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

